



# SOTOSHU SHUMUCHO

*Administrative Headquarters of Soto Zen Buddhism*

5-2 Shiba 2 Chome Minato-ku Tokyo 105

Phone 03:3454-5411 Fax 03:3454-5423

1995年12月13日

フランス国政府大統領

ジャック・シラク閣下

駐日フランス大使

ジャン・ベルナル・オブリエ殿

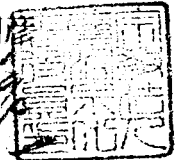
東京都港区南麻布4丁目11番44号

日本国宗教法人「曹洞宗」

東京都港区芝2丁目5番2号

代表役員 宗務総長 大竹明彦

大竹明彦



フランス政府核実験実施に関する即時中止要請書

- 1 日本国宗教法人曹洞宗は、すべての核兵器保有国に対してその生産、実験使用の全面的禁止と廃絶を求めます。
- 2 よって1995年9月6日以来、貴政府において実施中のムルロア環礁周辺海域における核実験の即時中止を要請します。

1970年3月核不拡散条約(NPT)が発効し、'76年9月にはわが国が、同じく'92年8月には貴国が加盟しております。さらに'92年4月当時のミッテラン大統領閣下は、核実験の凍結を世界に向けて発表しています。現今の世界情勢下においての凍結の意味するところは、当然全面廃止への段階として理解されており、凍結を解除し実験を再開することは、予想だにされておりました。

さらに核実験廃止へ志向する世界世論は'95年5月11日NPTの無期限延長を決定し、来年には包括的核実験禁止条約(CTBT)が発効する段階に入っております。

この過程から考察するに、貴国民は核廃絶について指導的立場を堅持してきたものと理解しておりました。そのフランス政府が核実験を再開したことは、全世界に深い失望感を与えたのであります。核兵器廃絶へ向かう世界の動向に反し人類の理想達成を遅らせる行為として、絶対に容認できないのであります。



# SOTOSHU SHUMUCHO

*Administrative Headquarters of Soto Zen Buddhism*

5-2 Shiba 2 Chome Minato-ku Tokyo 105

Phone 03:3454-5411 Fax 03:3454-5423

日本国憲法は宗教と政治は分離することを定めております。この度の貴政府にたいする本宗の抗議は、政治に関与する意図に基づくものではなく、以下に示す曹洞宗の教義に則り、人類全体の福祉向上を願って行うものであります。すなはち宗教も政治も常に国民や人類の幸福に奉仕するためにあり、政治や軍事がこれに優先するものであってはならないと信ずるからであります。

日本曹洞宗の初祖道元禪師は、歴史上世界有数の思想家であり禪の偉大な指導者であります。道元禪師はその著述『正法眼蔵』に次のような考えを示しています。

『草木叢林が無常であり、かたときも生命のいとなみをとめないところに、仏がしめした真実のありようを見る。人の体や心が無常であり、生まれて成長しやがて老いていくところに、仏がしめした真実のありようを見る。国土や山河が無常であり、すがたやかたちを自然の摂理にしたがって変えていくことは、これは仏がしめされた真実そのものだからである。』

この教えはもっとも基本的なものであり、曹洞宗の聖職者や信徒はこのような教えを学び、生命あるものすべてを自分の生命と同様に大切に考え、宇宙環境を汚し痛めることをもっとも戒めてきたのであります。したがって人為的に物質によって大自然を傷つける行為は、わが生命の安全を脅かすものとして絶対に許すことはできません。

曹洞宗は禪の宗教であり750年前に日本において道元禪師により開宗され現在にいたり、わが国をはじめ、欧米諸国に1000万人の信徒を有する教団であります。もちろんフランスにも修行道場があり多くの信者が東洋文明の真髄をきわめようとして、熱心に修行に励んでおります。

目下曹洞宗では21世紀の平和社会の実現をめざし、人権擁護、恒久平和、環境保護の理想を掲げ、多角的に運動を展開中であります。この運動にたいしてもっとも障害となるのが核兵器による破壊行為であり、今後いかなる社会が出現しようとも、この様な行為から人類がうるものは絶無であることを確信致します。また核兵器を保有する限り人類の安寧はありません。

世界に唯一の核被爆国である日本民族の願いと、曹洞宗1000万人の聖職者信徒を代表して、貴政府による核実験の即時停止を強く要請致すものであります。

以上